



真鶴中学校だより 第二五七号 鶴からの手紙

2023
11.27
責任者
市川 麻美

「長かった
『夏』が終わり、
一気に・・・」

十一月初旬は、いつまでも『夏日』暑かったですね・・・。秋をゆっくり楽しむ間もなく、寒い『冬』が来てしまった感があります。

三年生は、すべての学校行事を終えて、まさに進路選択のまったた中、一気に受験生となります。一、二年生も定期テストが始まります。どうか落ち着いて、じっくり今と向き合ってください。

学習活動発表会後の一ヶ月、落ち着いて学習（授業）に取り組みたてしうか？前回の定期テストから間隔が開いているわけですが、單元ごとにまとめて積み上げてきた内容をしっかりと復習して、テストに臨んでください。いつも話していることですが、体調管理も大切です。寒くて乾燥する季節は特にです。季節が進むということは、生徒の皆も中学生としての道を知らず知らずに進んでいるということですが、まっすぐに、困難無く進める人はま

れだと思えます。時々道を間違えたり、寄り道したりすることもあるかもしれませんが、それぞれに進むべき正しい道をゆくり進めたいと思います。クラス仲間や真鶴中学校で出会った先輩後輩と共に、助け合いながら、楽しい生活が送れるように協力していきましょう！一気にいなくなっても、少しずつでもいいのです・・・。大事なのは『あきらめないこと』です。

「学習活動発表会
を終えて」

前号で予定していた、学習活動発表会の感想などの第二弾になります。

私たちはこの学習発表会で科学部の発表をして、伝えることの難しさ、大切さを知りました。スライド作りでは、



相手にわかりやすくするためにはどうすればよいかを考えました。見る人にわかりやすいスライドを意識して、なるべく文字を少なくしてつくりました。展示のときに理科室にあったポップも私たちがつくりました。ポップを作る途中で絵を書いたり、漫画風にしたたり、工夫しました。このような工夫により科学部の発表をいい形で終われたと思います。三年生の活動は終わってしまいましたが、後輩には今後も科学部の活動を頑張ってもらいたいです。

三年一組 三木陽文

私たちは三年生にとっては、最後の学習活動発表会でした。毎年この日のために一年かけて作品を作っています。去年よりも人数が増え作品の系統もすごく変わりました。前日の展示準備では、



学年を問わずみんな協力できました。すごく仲も深まりました。当日は、去年とは違ったスライドの発表をして、展示を見に来てくれる人が多くなったのが、嬉しかったです。「面白い作品だね」とか「上手だね」とか褒めてもらっ

たり、自分たちが作ったゲームで遊んでくれたりすごく嬉しかったです。

三年一組 河本 美優

私たちは学習活動発表会を終えて、またひとつ成長したように感じます。

夏の暑さを感じる九月、私たちは学習活動発表会に挑みました。学習発表会では、主に劇と合唱に力を入れました。劇では、役ごとに衣装を作りセリフなども練習を重ねました。本番では何人か欠席者が出ましたが工夫をしながら無事やり遂げることができました。

合唱練習では、チームワークを意識し、互いを支え合いながら歌い切ることができました。

中学生最後の学習発表会でしたが、三年間の集大成としてそれぞれの力を発揮できた最高の発表会になったと思います。

三年一組 黒葛原 正宗

三年生は、少ない中での学習活動発表会になってしまいました。しかし、少なくともしっかり回せていてさすがだなと思いました。

我々二年生は、合唱練習では、最初、テノールがあまり声を出さず、



ひどい状態でした。この問題は、一人ひとりが意識して声を出すことや、その音域の声を大きく出すことで改善していきま

本番まで少し不安はありましたが、なんとか成功したと思います。

総合の発表では、ダブル主演の一角をさせてもらいました。個人的には学習活動発表会を楽しみたい。という思いでやらせてもらったのですが、台詞を何となく覚え(完全に覚えると会話っぽくない、演技っぽくなってしまふと思っただから)楽しくやりきれたと思います。

二年一組 笹渡 大地

「漁業体験を終えて」

インフルエンザの流行によって延期になっていた漁業体験が、十一月七日(火)に行うことができました。当日はロープワークと干物づくりを二グループに分かれ入れ替え制で行いました。後日、見事な干物が学校に届きました。当日の感想をいくつか紹介します。

今回の漁業体験で知ったことは、真鶴の海は自分が思っていたよりもすごい海で、日本有数の海だということ。また、漁業は様々な作業があることも分かりました。

そして、真鶴の美味しい魚はたくさんのおかげで食べられるのだと分かりました。漁師の仕事は大変だけど、楽しそうなので将来の夢のひとつの候補に入れようと思います。自分ももし真鶴の海で漁師になったら、その時はよろしくお願いします。

一年一組 松本 悠護

今回の職場体験で感じたことは、自分が思ったよりも漁師の仕事が大変なこと。私は、定置網に入った魚は全て捕まえられるのかと思いましたが、二割入って八割逃げてしま

と言うことを聞いてびっくりしました。また、ロープワークを見た時に簡単そうだと思っ



ましたが、



難しくてなかなかできません。私は干物を作るのを楽しみにしていました。普段魚は触らないので、魚を触

たとき初めての感触でびっくりしました。意外と魚をさばくのは難しいことがわかり、今後手伝いをするときに生かせると思います。

一年一組 御守 有結

今回の漁業体験では、干物づくりで魚をさばいたことが印象的でした。自分は家でもそこまで包丁を使用しないので、本当に自分の腹に刺さってしまうのではないかと恐ろしかった。また、ロー

プワークでは、初め、結び方がよく分からなかったのですが、青木さんがわかりやすく教えてくれたので、



すぐに結べるようになりました。そして、舫い結びをすることで人命救助にも使用できるということでした。実際試してみたところ体重をほぼ預けても全くほじける気配がなかったことに感動しました。

一年一組 竹内 孝明

「赤い羽根の募金活動」

十月二十五日に四年ぶりに、赤い羽根の募金活動を駅前で行いました。その後二日間学校でも行いました。集まった募金は、社会福祉協議会へ渡すことができました。



訂正

先月号の「学校保健委員会を終えて」に掲載した、1年1組原さんの文の中にSDG'sと記載されたいましたが、正しくは【SOGIE】でした。私の思い込みによる、間違えてました。大変申し訳ございませんでした。

【SOGIE】とは、性的指向と性自認を表す言葉です。